



真宗大谷派 (東本願寺) 天満別院

大字城

735号

2026
2/1

大阪市北区東天満1-8-26
06-63351-3535
代表者 輪番・奥林 曉

最初のお弟子

遠い昔のインドです。慈しみ深い王のもとで民が平和に暮らす国がありました。

ある日、突然火星が現れ、占い師が王に申し出ました。今後十二年間雨が降らないという予兆だということです。王は国中の穀物の蓄えを調べ、みな平等に分配するよう指示しました。しかしとても足りません。日が経つにつれて国民は飢えて次々と倒れていきました。

王は救いの方法を懸命に探していました。ある日、王はいつものように大勢のお供を連れて森遊びに出かけました。広い森を散策してすっかり疲れた一行は柔らかな草を褥しとねに休息しました。王は周囲の人々がすっかり眠っているのを確かめて立ち上がり、森の向こうの大きな河のほとりへ向かいました。大きな岩に登り、四方を恭しく礼拝して誓いを立てました。

「我が国の民は皆食糧が尽きて、死に瀕しています。私は今この身を捨ててできる限り多くの人々を助けます」

森の中を王の真心が一陣の風となって吹きわたりました。大きな水音をたてて王は大河に飛び込みました。すると王は河幅いっぱいに見え

る限りの流れの長さの巨大な魚に生まれかわりました。

その時、森の中を五人の木工が斧を担いで森の樹を切り倒していました。しかしお腹がすいて力が入らずそこへ倒れ込んでしまいました。すると人の声が聴こえました。

「ここに来なさい。食べ物がある」

五人がそこへ行ってみると河の幅の河の長さの巨大な魚がいました。

「我が肉を切り取れ、充分に飢えを充たせ。私の身は果てることはない。好きなだけ食べて、好きなだけ切り取って持ち帰り人々に分け与えよ。ここに食べ物があることを多くの人々に伝えよ。今はまず我が肉を食べて元氣をつけよ。その後には法の食事を与えよう」

伝え聞いた民は河の流れよりも長い列をなして王の肉を食りました。右側の脇の肉が食べ尽くされると魚は自分で左の脇を人々に向けました。そしてそれが食べ尽くされると右脇を向けます。そこにはまた新たな肉がついていました。こうして十二年の間、飢え死にする者はありませんでした。

それから数えきれない年月が経ち、お釈迦さまが六年の厳しい修行の後、悟りを開いてサルナートに赴き、最初の説法を聞いた五人の比丘こそが、かつての森の五人の木工でした。そしてあの無限大の大魚こそはお釈迦さまの遠い昔の姿だったのです。

法要・行事予定

2月	
2日	実如上人御祥月命日晨朝兼日中 (7時45分)
5日	教如上人御命日晨朝兼日中 (7時45分)
6日	彰如上人御祥月命日晨朝兼日中 (7時45分)
8日	現如上人御祥月命日晨朝兼日中 (7時45分)
	同朋の会 (14時)
12日	先門首御遠夜・永代経 (14時)
13日	先門首御命日晨朝兼日中 (7時45分)
21日	合唱団「みのり」 (14時)
22日	乗如上人・聖徳太子御祥月命日晨朝兼日中 (7時45分)
24日	定例法話 (13時30分) 安間 観志 師 (第7組 了願寺) 「人間界と極楽世界」
25日	善如上人御祥月命日晨朝兼日中 (7時45分)
27日	宗祖聖人御命日御遠夜 (14時)
28日	宗祖聖人御命日晨朝兼日中 (7時45分) 法話：輪番

3月	
4日	真宗学 聖典講座 (14時)
5日	教如上人御命日晨朝兼日中 (7時45分)
12日	先門首御遠夜・永代経 (14時)
13日	先門首御命日晨朝兼日中 (7時45分)
21日	合唱団「みのり」 (14時)
24日	春季彼岸会 並 総永代経法要 兼 墓地納骨 (物故者) 追弔法要 (13時30分) 澤田 見 師 (第12組 清澤寺)
25日	蓮如上人御祥月命日晨朝兼日中 (7時45分)
27日	宗祖聖人御命日御遠夜 (14時)
28日	宗祖聖人御命日晨朝兼日中 (7時45分) 法話：輪番



2月 定例法話

定例法話では多彩な講師陣が分かりやすく真宗のみ教えをお話ししてくださいませ。2月は左記の通り開催致します。

記

日時 2月24日(火) 13時30分
場所 天満別院 講堂
御講師 第7組 了願寺 安間 観志 師
講 題 「人間界と極楽世界」

今月の伝道掲示板

ひたすら道を
聞きひらき
まことの^{むね}み宗
いただく

— 真宗宗歌 —

ご家庭仏壇仏具から寺院仏具の設計施工まで
大阪仏壇仏具センター
株式会社 越前屋
0120-06-0401
<https://www.echizenya.co.jp>
服部本店・本社工場
〒561-0858 大阪府豊中市服部西町1丁目8-15
☎06-6862-0401
千里中央店 ☎(06) 6871-0401
十三店 ☎(06) 6300-0401
敦賀店 ☎(0770) 25-0401

寺町という歴史ある地域に
根ざした老舗葬儀社
(株) 天満花重
〒530-0041
大阪市北区天神橋 3-4-6
電話 (06)-6351-3875
FAX (06)-6351-6260

地域のお客様の毎日に、
「おいしい」「ワクワク」「ハッピー」を
お届けするスーパーマーケット
ライフ東天満店
〒530-0004
大阪市北区東天満
1-8-14
TEL 06-6357-1100 **ライフ**



フィールドワークの様子

**青年部会主催
フィールドワーク開催**

去る12月26日（金）に天満別院教化委員会青年部会主催によるフィールドワークが行われました。

講師には大谷大学講師の松金直美さんをお迎えし「近世の天満周辺の歴史を学ぶ」というテーマで行いました。

総勢17名の方が参加され、最初に講義をしていただきその後、フィールドワークを行いました。

青年部会では、若手寺族を中心に様々な活動を行っております。ぜひ興味ある方は気軽に天満別院までご連絡ください。



2月 同朋の会

2月の同朋の会は左記の通り切り抜きアートを開催いたします。

写真や絵や文字などを、新聞・雑誌などから切り抜き、画用紙・はがき等に貼って作品とするもので、パリでピカソがはじめた現代美術の表現方法のひとつです。

記

日時 2月8日（日）14時

場所 天満別院 会議室

内容 新聞切り抜きアート

講師 河合 千佳子師

持ち物（あれば）
ハサミ・鉛筆・ピンセット
目打ち・絵筆（小）

御講師には、山田 恵文先生（大谷大学非常勤講師）にお越しいただき、『唯信鈔文意』に学ぶ』をテーマに、お話いただきます。参加費は無料です。

またオンライン配信による受講も可能です。

記

日時（各回14時～17時）

1回目 3月4日（水）

2回目 4月7日（火）

3回目 5月12日（火）

4回目 6月2日（火）



2026年度 聖典講座

この度、左記の通り3月から6月までの全4回、大阪教区教化委員会主催の聖典講座が天満別院に於いて開催されます。



法要の様子



光明寺 御遠忌法要

去る12月13日（土）天満別院崇敬寺院である光明寺（東淀川区）におきまして宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌法要厳修並びに内陣等御修復落成慶讃法要が執行されました。

多くのご門徒が参拝され、厳かな雰囲気の中、法要が勤まりました。誠にありがとうございます。



日本舞踊の披露



谷責任役員からの乾杯の発声

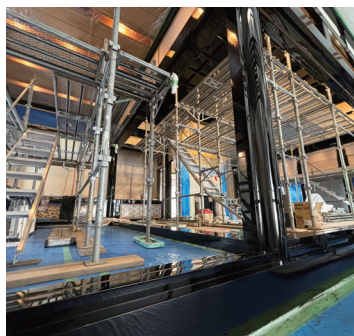
新年会 開催

去る1月18日（日）料亭 天王殿にて新年会が開催されました。

当日は、寺族・ご門徒総勢30名の方が参加されました。

奥林輪番から始めに挨拶、谷責任役員より乾杯の発声、日本舞踊の披露があり寺族・ご門徒の別なく歓談されました。

最後に八十島門徒会長より挨拶があり、皆さま楽しいひと時を過ごされていました。



漆塗りの様子

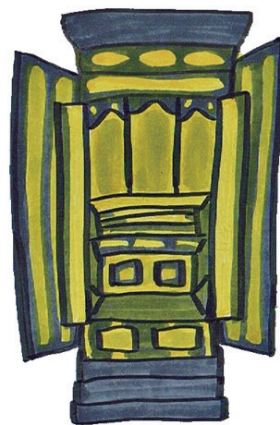
本堂漆塗り工事 報告

天満別院本堂において、令和7年10月8日より進めております漆塗り工事は、関係各位のご理解とご協力のもと、順調に工事が進んでおります。これまで下地づくりから中塗り上塗りまでを無事に終え、現在は「呂色仕上げ」の工程へ進んでいます。

なお、本工事の完了は令和8年3月15日を予定しております。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

※呂色仕上げ
漆を何度も塗り重ね、炭や研磨剤で研ぎ、生漆を摺り込む作業を繰り返して行う事で鏡のような深みのある光沢と滑らかな質感を生み出す最高峰の漆仕上げ技法。

いつもと法事の時の荘厳（おかざり）の違いは？



答え

三具足（花瓶・燭台・香炉）から五具足（花瓶一對・燭台一對・香炉）へ変わったり、打敷を掛けたりというのは、たくさん出ている御荘厳の本やインターネットなどで確かめることができます。しかし、ここで大切にしていただきたいのは、形ばかりの違いは無く、気持ちの違いに注目していただきたいと思えます。

どれだけ亡くなられた方のおっしゃることに耳を傾けているか、教

えを聞こうとしているのかです。その教えに耳を傾けながら御荘厳をすると気持ちがあらわれてきます。

親鸞聖人がお書きになられたご和讃に「本願荘厳よりおこる」（浄土和讃）とあります。精一杯の御荘厳をして、その御荘厳を見るとわたしの心に本願が生まれとおっしゃっているのです。どうぞ本山にきて、別院にお参りして、お寺にお越しになって、心を落ち着かせ、じっくりと御荘厳を見てみましょう。何か感じるころがあると思います。

お内仏（お仏壇）も子どもさんやお孫さんがお参りに、または、親戚の方々が参りになられる際に、皆さんに本願が生まれるような精一杯の御荘厳をしてお迎えいたしましょう。きっと素晴らしいご法事になると思います。

（第7組 光明寺 山内 称基）

新年会 開催

去る1月18日（日）料亭 天王殿にて新年会が開催されました。

当日は、寺族・ご門徒総勢30名の方が参加されました。

奥林輪番から始めに挨拶、谷責任役員より乾杯の発声、日本舞踊の披露があり寺族・ご門徒の別なく歓談されました。

最後に八十島門徒会長より挨拶があり、皆さま楽しいひと時を過ごされていました。

天満別院本堂において、令和7年10月8日より進めております漆塗り工事は、関係各位のご理解とご協力のもと、順調に工事が進んでおります。これまで下地づくりから中塗り上塗りまでを無事に終え、現在は「呂色仕上げ」の工程へ進んでいます。

なお、本工事の完了は令和8年3月15日を予定しております。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。